	東京	京都
名称		
参加団体及参加人員	主催 芝浦労働組合 参加 三十八団体 約三、〇〇〇名	日本労働総同盟京都聯合会
集合地	芝公園	岡崎公園 市公会堂
運動方法	一、演説会（屋外） 午前十時より零時半迄集合地に於て各団体代表三十四名外自由演説あり右終りて示威運動に移る 示威運動 零時半集合地を出発し約六丁に亘る行列は上野山下まで行進し午後四時解散す	一、宣伝並示威運動を行はず 午前九時下京区川端通京都聯合会事務所に幹部以下約六〇名集合し同十時より五人一組となり各方面に宣伝班を出し全員ボール紙に標語を墨書せるものを背負ひ市内要所を宣伝す、午後一時全班岡崎公園公会堂前に集合し労働歌を合唱して随意退散す 二、演説会（屋内） 午後七時岡崎公園市公会堂に開催 聴衆約二、〇〇〇名 弁士二十八名
宣言及決議	決議 △俺達が長い時間働く程資本家どもは俺達を鉄鎖に縛るんだ、そして失業者を多く出すんだ、長時間労働は結局俺達労働者の墓場に終るんだ △不景気は資本主義の必然の産物だ、飢えて俺達労働者を飢餓に陥すのは資本主義の墓穴に俺達をおいこむんだ △俺達は長い時間の労働に俺達の力で抗議し不合理な失業に俺達の力で抗議しよう、だが兄弟俺達は更に進んで失業のない社会、飢餓のない社会の建設の為めに根強く戦はう △此意味に於て俺達労働者は今日日本に於ける第四回メーデーに際し 1、八時間労働の即時実施 2、失業防止の徹底 3、生存権の獲得 以上の三項を全労働階級の為めによって決議する 千九百二十三年五月一日 東京全労働組合同盟	
備考	メーデー挙行に付ては労働組合側は主義者及鮮人の参加を拒絶したるを以て主義者側憤慨し五月一日の近くに至り印刷物を撒布して労働者を煽動し其の挙に出でんとするもの有り八種を押収するが如き[illegible]を見ざる所あり 日本に於けるメーデーの開催は大正九年以降あり	ボール紙標語に「団結」「八時間労働実施」「働かざるものは食ふべからず」「メーデー祝福演説会に来れ」等あり 七條署は之に対し穏健なるものゝ外携帯を禁止せり 宣伝印刷物は「働く者の[illegible]メーデーを祝へ」約千五百枚を五月一日前頒布 当日頒布のものは「メーデー祝福労働組合大演説会」二万枚のみなり